2022年（令和4年）1月24日 月曜日 第1245号
もっと読者に近づきたい… 建設ジャーナリスト宣言！
（平成15年1月9日第三種郵便物認可）

建設報道
週刊 ワークス
WORKS
2022 1-4 号
毎週月曜日発行
発行元 ㈲サムライズ
大分市大字光吉1015番地12 TEL 097-567-0324 FAX097-569-7994 E-mail:info@eworks.jp
月間購読料 ¥6,380 税込み （FAX・メール情報サービス込み） HPアドレス：http://eworks.jp/

ご購読者様にお得なお知らせ
週刊紙をご購読の方
建築速報が無料です！
配信日 週3回 月 水 金
メール配信のみ
祝日以外の毎週月・水・金の3回メール配信となります。
※FAX版は有料となります。
※ご購読にはお申し込みが必要です。
お申込み お問合せは 097-567-0324

◇今週の特集◇国閉

清松総合鐵工㈱

復活に備え、挑戦を継続

SDGsとカーボンニュートラルに注力

新年明けましておめでとうございます。令和4年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、コロナ禍の中で、石油等のエネルギーコモディティや粗鉄等のハードコモディティ等、世界市場で価格が決められるものは、コロナ禍の経済対策として行われた量的緩和の受け皿という背景もあり、投機的に常識を超えて値上がりしていく傾向にありました。そこにSDGsやカーボンプライシングなど環境コスト増加も合わさり、度重なる異常な値上げが行われました。しかるに新型コロナウィルス感染症拡大防止対策に翻弄され、個人消費や生産・雇用等の足元の経済指標が総崩れする中、そのコスト増をエスカレできずに苦しんでいる業態も数多く、我社が営む鉄工業もまた、苦しんでいる業態のひとつであり、あらゆる面で足踏み状態になってしまった感があります。やっと新型コロナ新規感染者数も落ち着き、今年こそは！と思っていた矢先に、突然舞い上がった新しい火種であるオミクロン株により、今年もどのような年になるか？不安の幕開けとなってしまいました。しかし、不安材料ばかりを論って、怯えてばかりいても仕方ありません。「危機をどのように凌ぐかも大事ですが、もっと重要なことは復活への備え」だと確信し、さらに挑戦を続けることに致します。

そのような意味においても、新年の最初の公開朝礼「年初の朝礼」でも申し上げましたが、我社が向かうべき方向として「SDGsそしてカーボンニュートラルに注力する」という目標を掲げ、再生可能エネルギー100％の電力（RE100）をいち早く導入し、SDGsの17項目の行動目標に対して、既に9項目について行動を起こしています。また我社では、月初に公開朝礼を行っており、その朝礼はNew York Timesを始めとしたさまざまなメディアで取材を受けておりますが、今回年初に行った朝礼では「星投げびと／ローレン・アイズリー」を題材にさせて頂き、SDGsに取り組む姿勢についてお話しました。SDGsに対して大企業では、株価維持や優秀な社員獲得のために取り組んでおりますが、株式公開をしていない中小企業がSDGsに取り組んでもメリットがないばかりかコストやマンパワー増のデメリットであるため、取り組んでいる会社は殆ど見られません。しかるに、数の上では日本の会社の99.7％に及ぶ中小企業がSDGsに取り組まなければ、子供や孫の世代に現在の地球環境を渡すことができなくなると危惧しております。「苗を植える人と果実を採る人」という喩え話を交えて、果実を採るのが自分ではないからといって、それは苗を植えないという理由にはならない旨お話させて頂きました。ちなみに月初の朝礼は、どなたでも参加可能ですので、希望者は清松総合鐵工株式会社にご連絡お願い致します。

最後に、本年も旧年にも増して、清松総合鐵工株式会社へのご理解とご支援をお願い申し上げますと共に皆様のご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

＜清松芳夫社長＞